

	第 48 回 平成 30 年 5 月 11 日
	社会福祉法人元気村 夢工房翔裕園 〒365-0025 埼玉県鴻巣市下谷 41 TEL048-540-5000 FAX048-544-0050 あおぞらベーカリー TEL048-540-7080

《平成 30 年度事業計画について》

平成 30 年度は元気村創業 25 周年のメモリアルイヤーです。この記念すべき年度において当園は、基本方針を「就労の出来るサービス体制を継続し、利用者の職業能力開発を図る」を掲げました。この基本方針に則り就労移行支援事業では、施設外就労を中心とした就労支援プログラムを実施し、体力強化・学習プログラム強化を図ります。それにより就労へ結びつけます。

就労継続支援 B 型においては、生産活動により職業能力の開発を図ります。

その手段として、パンの製造販売は、売れる所へ、売れる時期に販売致します。昨年度より浦和学院高校へ隔週月 2 回販売に出向いておりますが、毎週販売できるよう環境を整えます。観光福祉農園元気ファームにおいては、年間を通じお客様が来園頂けるよう、1 月～5 月は「いちご狩り」、6 月は「玉ねぎ掘り」、8 月は「ブルーベリー狩り」、10 月は「サツマイモ掘り」を実施してまいります。当園利用者の皆様は、外作業になるため大変かもしれませんがご協力をお願い致します。

また、元気村創業 25 周年のメモリアルイヤーとして 10 月にイベントを行いたいと思います。ご期待ください。

平成 30 年は、「平成」元号の最後の年となりますので後悔の無いよう皆様と共に過ごしてまいりたいと思います。

《サービス管理責任者 本年度の抱負》

夢工房翔裕園 3 代目サービス管理責任者になりました K. H です。年度が変わり、スタッフも新しい人が増えています。楽しみにしている人も少し不安がある人もいると思いますが、スタッフ皆で力を合わせていきたいと思っています。

皆さんもご存知のように昨年度までは就労移行で就労支援員としてメンバーの就職のお手伝いをしていました。春からは就労移行・B 型の皆さんが個人個人の目標に少しでも近づけるようお手伝いしていきたいと思っています。まだまだ未熟な部分もありますが、できる事はやっていきますので、宜しくお願いします。

《B 型サービス 本年度の抱負》

就労継続支援 B 型では、新しいスタッフを迎え、新体制でのスタートとなりました。

障がいを持った方が自立した日常生活や社会生活が営むことができるよう、就労の機会を提供すると共に、社会生活を送る上で必要なスキルが身につけられるよう支援します。

新しく変更があるのは、5 月作業実施分より B 型の作業別工賃時給を同額とさせていただきます。そのため、パン・農園・内職と作業の垣根なくメンバー全員で作業に取り組みます。内職作業が増えるわけではないので、その日にある作業を全員で取り組んでいきましょう。また、野球ボールの修繕作業も再開しますので、作業の感覚を忘れてしまった方も思い出してください。農園は、苺が終わると玉ねぎの収穫とさつま芋の定植がありますので、作業の着替えの準備も忘れないようにしてください。苺も冷凍保存用にヘタ取り作業があり、接客もラストスパートです。農作業は就労を目指すための基礎体力作りにもなります。また、あおぞらベーカリーなどの生産活動を通じ積極的に地域社会と関わっていきたいと思います。

今年度も、訓練多様化と効率を図り、新しい生産活動に取り組み工賃向上を目指します。

目標を達成するためにも今年度も皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

余談ではありますが、以前お寺の住職さんのお話で、「目標を立てることも大切だが、

毎日目の前のことをコツコツやっていくことで、結果は後からついてくる・・・」というお話がとても心に響いています。

日々の小さな努力が 1 年後に大きな成果になるように、マイペースで頑張ろうと思います。

《就労移行サービス 本年度の抱負》

4 月になり世間では春の嵐が吹き荒れている中、夢工房では職員の配置変更や新しいスタッフが入職したりと、去年とは違う新しい春になりました。しかし夢工房の就労移行では引き続き就職に向けて日々訓練に励んでいます。

昨年度は体力づくりを目的としてプール（腰が痛い人限定）や縄跳びを訓練の項目に入れていました。人によって違いはありましたが体力をつけることができましたと思っています。

また 8 月から施設外就労先を変更し、「障害者雇用での働き方」により近い形で訓練を行うことができました。

今年度は昨年から取り入れている訓練内容は継続しつつ、スタッフ・メンバーが一緒になって考えながら行っていきたいと思っています。またそれぞれのメンバーに合った新しい訓練内容を考えていければと思っているので、良い案があれば積極的に提案して下さい。

《避難訓練》

3月22日(木)に施設における避難訓練をおこないました。

13:30にパンの作業室のフライヤーから出火したと想定した訓練でした。

作業中であるメンバー全員とスタッフが避難経路を確認しながら避難し、人数の点呼をして消防を待ちました。

その後、消火訓練をしました。



メンバーからの一言

- 久しぶりに消火訓練をして、手がぶれてしまいました。(Rさん)
- 初めて参加して難しかったです。(Kさん)
- 消防士さんに丁寧に教えてもらったのでよくできました。(Sさん)

《データ入力の仕事》

B型の新しい仕事として、データ入力をパソコン教室でパソコンの勉強をおこなっているメンバーに実施してもらいました。

データ入力の仕事は、正確に入力することが最も重要で、ミスをしないように真剣に取り組んでいました。

特に、名前の漢字は「サイトウ」のサイの字を例にすると、「**斎藤**さん」

と「**齊藤**さん」と「**齋藤**さん」と「**齊藤**さん」と実に間違いや

すいので注意しながら実施しなければなりません。

それでも、人間はどうしてもミスをしてしまうので、間違いが無いかの確認作業は2人1組で一人が読んで、もう一人が画面を確認する方法でおこないました。最後にスタッフがもう1度確認して、完了としました。

実際に、実施したメンバーは、普段の仕事より疲れたと感想をおこなっていました、実際に事務の仕事に就いた際にはデータ入力の業務も想定されるので良い経験をしたのではないかと思います。

今回は、臨時の仕事でしたが、通常の仕事になれば良いかなと、思っています。

実際に実施したメンバーの感想は以下のとおりです。

「仕事として、やるのは初めてで緊張しましたが、今まで受けた訓練のおかげか、思っていたよりスムーズに出来たと思います。確認作業で声を出すのが大変でしたが、先生の丁寧な指示あって、無事に終わらせることが出来て良かったです。」 (Kさん)



《4月レク 軽食&カラオケ》

新年度になり、初めてのレクリエーションがゴールデンウィークの初日に行いました。今回のレクリエーションはメンバーの家族の方も呼んで行いました。軽食作りでは、お母さま方の主婦の力のおかげもあり、とても美味しそうなホットケーキと焼きそばが出来上がり、みんなでおいしくいただくことができました。カラオケは皆さんの自慢の歌声が響き渡り就労移行の卒業生の美声やボイスパーカッションなどで盛り上がることができました。次回開催を期待する声も多く聞かれました。

メンバーからの一言

4月28日(土)のレクは、姉とともに参加しホットケーキと焼きそばを腹いっぱい食べられました。歌は歌わずに聞く方に専念しました。とても楽しかったです。次のレクも楽しみです。(Nさん)



《新しいスタッフの紹介》

平成30年4月1日入職 K. Y

就労継続支援B型に入職しましたK. Yです。

今年3月に関東福祉専門学校を卒業しました。

地元の公立小中学校の特別支援学級で支援員として4年間勤務していた経験がありますが、専門学校での学びや実習は高齢者福祉に関する分野がほとんどだった為、障がい者福祉や就労支援の分野に携わることは初めてとなります。

休日は掃除、洗濯等、たまった家事を片付けたり、バドミントンサークルに週1回参加したりして過ごすことが多いです。レクリエーションでメンバーの皆さんと体を動かす機会があるとのことで、今から楽しみにしています。本を読むことも好きです。冬場は近郊のスーパー銭湯めぐりもします。

メンバーのみなさんから「よろしくお願いします。」「ずっといてね。」など温かい励ましの言葉を掛けていただいたり、意欲的に作業に取り組む姿勢を目にすると、私も頑張ろう、一日も早くみなさんのお役に立ちたい、という気持ちでいっぱいになります。至らない点多々ありますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成30年4月1日入職 A. O

はじめまして。この度、ご縁があり法人内異動により就労移行支援に配属となりましたA. Oと申します。

前職は市内の特別養護老人ホームで事務員として3年間勤務しておりました。産休育休を経て昨年10月の仕事復帰から半年が経過した矢先、異動のお話をいただきました。プライベートでは2児の母でもあり子育て・家庭・仕事に奮闘する日々です。

休日は子供たちと公園で遊ぶことが多く楽しい時間を過ごしています。

年を重ねると新しいことに挑戦することが怖くなるものです。新しい環境と仕事内容にチャレンジする機会に恵まれたことに感謝し、メンバーさんの就労に向けて一緒に頑張っていきたいと思っています。